

若手消防団員紹介



東大阪市消防団 辻本 成生

辻本団員の父親は当該分団の分団長であり、幼いころから出初式や消防団活動を見ていたので、消防関係にはものすごく興味があったとのこと。大学卒業後は市の消防職員として人の役に立つ仕事に就こうと考えたが、父の経営する会社に入社することになったため、消防団員として「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域愛護の精神に基づき消防の役に立てればと思い入団されました。

入団後、基礎教育訓練で放水体験や災害について勉強した際、大変な仕事であると感じた。初めて実際に火災現場において放水活動（消火活動）を行ったとき、火の怖さ、煙の苦しさを知り、訓練で感じていた以上に大変な仕事であると実感しました。また、山林火災訓練や救命講習、現場での人命救助活動など実際の現場活動において役立つ訓練ができ、自己研鑽に努めることが出来て良いと思いました。



趣味はサーフィン、特技はドラム演奏という辻本団員は、優しくて少し気が弱いところもありますが、真面目で常に前向きに仕事をこなされ、知識や技術の習得と自己研鑽に励んでおられます。消防団活動の参加率も高く、上司の方々に与えられた仕事にも意欲的に取り組むため、上司の方々に慕われるだけでなく他の団員からの信頼も厚いです。

東大阪市消防団に入団しされて5年ですが、知識や技術などまだまだ習得しなければならないことが多いと自ら感じられ、そのため一生懸命努力されています。今後も火災現場だけでなく救助活動や救命処置など、今すぐに災害が発生しても救助活動に対応できるように、いっそう努力精進し、東大阪市消防団を今以上に盛り上げていきたいと思っておられます。